

第 176 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 2 年 1 月 27 日（月） 13：30～15：43

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 河上部長 前木参事（欠席） 湯浅課長（兼室長）

河上副参事 市原課長 村瀧副参事 牛尾室長 村木課長

外浦課長 平岡室長 原田分室長 佐々尾分室長（代：稲田係長）

三浦分室長 小松分室長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 令和 2 年度教育方針について（資料 1）
- (2) 教育委員会委員と社会教育委員の意見交換について（資料 2）
- (3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

先週あたりからインフルエンザが小・中学校で大変流行ってきた。学級閉鎖、学年閉鎖等の措置を取った学校の児童生徒約 200 人が陽性ということになっている。まだまだインフルエンザが続くと思うので、また学校への指導を行っていききたいと思う。

2 月の第一週のところで毎年、創作ダンスの発表会があり、今年は 2 月 5 日である。過去も何回かインフルエンザで中止になったことがあるが、できれば予定通り行われるのが一番よいと思う。

それでは教育長報告について説明させていただきたいと思う。

- ① 12 月 20 日（金）第 175 回浜田市教育委員会定例会（第 2 会議室）

前回の定例会は 12 月 20 日に行われた。

- ② 12 月 22 日（日）石見神楽亀山社中 20 周年記念事業（石央文化ホール）

12 月 22 日（日）に、石見神楽亀山社中というものがあるが、

比較的新しい団体である。結成をされて20周年ということで記念事業があった。案内をいただいたので、出席をさせていただいた。

12時から17時過ぎまで、神楽の上演、それから基調講演、パネルディスカッション等、多彩な記念事業をされた。中々社中でこれほどの催しをするのはまれなことだが、若い方々が多い社中であり、見事にやり遂げておられた。

基調講演は県の文化財課の職員で藤原さんという方がおられるが、藤原さんが神楽研究家という一面を持っておられ、石見神楽の歴史について話をされた。

③ 12月23日（月）浜田市学校給食審議会（会長：滝本浩之）答申（教育長室）

浜田市学校給食審議会から答申をいただいた。給食費の改定について諮問をしていたが、今回消費者物価指数が、平成26年と比較して6.9%くらい上がるということで、それに見合う給食費の値上げについて答申をいただいたところである。具体的な数字でいうと、小学校が1食あたりで18円から19円の値上げ。月にすると330円から350円程度。中学校が1食あたり20円から21円程度の値上げ。月額にして370円から390円の値上げといったことで答申をいただいた。

これらの答申の内容については、給食センター毎に設置をしている運営委員会、又は運営協議会、そういったところに今投げかけをしており、その中で判断されることになる。

④ 1月3日（金）令和2年浜田市成人式（石中央文化ホール）

1月3日（金）に浜田市の成人式が行われた。これについては後ほど生涯学習課から詳しく報告があるが、ここ10年間では初めてということで私は認識をしているが、救急車を呼んで成人の方を病院に搬送するということがあった。これは飲酒による体調不良ということで、状況を見た時にかなり苦しそうだったので救急車を要請した。

会場に来られる前から飲酒があったということだが、そういった方々の成人式への参加について少し検討する必要があるということが課題として残ったと思っている。

⑤ 1月6日（月）市役所仕事始め式（講堂）

市民新年賀会（浜田ワシントンホテルプラザ）

1月6日（月）には仕事始め式があり、夕方からは毎年行っ

ている市民新年賀会がワシントンホテルで行われた。

- ⑥ 1月7日（火）令和元年度第3回三市三町教育長会（浜田市）
1月7日を皮切りに毎週火曜日に、これから5回、5週連続で行われるが、教職員の人事異動に関する三市三町の教育長会である。3月中旬に異動の内示をするが、それに向けての取組をスタートさせたところである。

- ⑦ 1月12日（日）第1回はまだちびっこ駅伝競走大会（美川地区）
第57回浜田市駅伝競走大会（美川地区）
2020ニューイヤー里がえりクラシックコンサート（石央文化ホール）

恒例となっている浜田市の駅伝競走大会が美川、四中をスタート、ゴールとして行われた。第57回ということである。今年から小学校の児童を対象としたちびっこ駅伝競走大会が、新たにスタートした。県内を見ると、他の地域では小学生の駅伝大会は行われていたが、浜田市はなかったとのことである。

ただ、今回が初めてということで、1年生から6年生まで一緒に走ったが、やはり1年生と6年生では、力の差もあり無理があるので、少し来年度は学年分けをしようかなという話も出ていた。総合順位は出たが集計ミスがあり、区間の記録が出なかったということがあり、区間賞を狙っていた児童にとっては大変残念な結果になった。第1回目なので、色々なことが起こった。

同じく12日にはニューイヤー里がえりクラシックコンサートということで、浜田市出身で全国で活躍されている、また地元に残って活躍されている音楽家の皆さんによるコンサートが開かれた。

- ⑧ 1月13日（月）大嶋啓介氏講演会（パレットごうつ・石央文化ホール）

これは教育委員会主催ではないが、教育委員会が後援をしている催し物で、大嶋啓介氏が江津と浜田の両会場において講演が行われた。元気の出る講演会ということで、保護者の皆様方、浜田・江津の皆様方が実行委員会を作って、一生懸命取組をされて、江津はパレットごうつで行われたが、約200名、浜田は石央文化ホールで行われたが約720名の方が聴講され、大変賑やかな講演会になった。

大人で2,000円の入場料が必要な講演会だったが、多数の方が聴きに来られていた。

話の中身を少し紹介すると、子どもの才能だとか可能性を引き出す最高の方法とは、家庭の明るさにあるという話をされた。家庭が明るいということは、とりわけ母親の笑顔が大事だということであった。その中で、では父親の役割は何かというところで、父親の役割は母親、奥さんを喜ばせることだといった話をされており、そういった一面も確かにあると思ったところである。

また、今自分が思っている限界は、それはまだ限界ではない。限界とはもっともっと上のところにある、という話もされた。潜在能力や可能性は無限大であると力説しておられ、諦めずに色々なことに取組むという様なお話であった。高校生もかなり会場に来ており、高校生たち、それから若い人たちにはインパクトのある講演会だったと思う。

⑨ 1月14日（火）JICA事業『ブータン王国における美術教育支援事業』関係者市長表敬（庁議室）

JICAの事業で『ブータン王国における美術教育支援事業』関係者市長表敬があったが、これは今年で3年目であり、JICAの事業として3か年事業なので、今年度がこの事業の最終年度ということだが、1月11日に浜田に入っただけで、25日（土）に浜田を出発された。2週間ばかり浜田におられて、浜田の美術教育の現状について学習して帰られた。

世界こども美術館、それから長沢にある教育センター、後は長浜幼稚園、みなと保育園、三隅小学校、三隅中学校、そういったところに出かけて行かれ、美術教育の現場の学習を調査・研究して帰られた。ブータンに戻られて、美術教育に活かしていきたいということで、実りの多い研修になったと話されて帰られた。

今回が最終年度であったが、さらに継続をしてほしいというブータン側からの要望もあり、もう3年間延長する方向でJICAと教育文化振興財団で協議を進められている。

⑩ 1月18日（土）第23回浜田こどもアンデパンダン展オープニングセレモニー（世界こども美術館）

こども美術館最大の展覧会、開館当時から毎年行っている浜田こどもアンデパンダン展オープニングセレモニーがあった

ので、出席させていただいた。

⑪ 1月21日（火）第12回B&G全国サミット（笹川記念会館・国際会議場）

東京で第12回B&G全国サミットがあった。市長と私で出席させていただいた。B&Gの海洋センターは全国で388か所あるが、その所在地の市町村長、教育長、市長が来られないところは副市長が、総勢で800人近く出席されていた。B&Gについては三隅に海洋センターがあるが、その利用者数や地元市町村の支援体制、指導員の数等、運営について毎年評価されている。特A評価、A評価、B評価という区分けで評価をされるが、浜田の三隅の海洋センターは10年連続で特A評価ということで、市長が壇上でその表彰を受けられた。表彰状と、大きなマスコット人形がもらえるということである。マスコット人形はまだ送られてきていないと思うが、送られてきたら、三隅のB&Gの体育館の入り口に置いてあると思う。また時間があれば見に行ってみてほしい。

⑫ 1月25日（火）・26日（日）旭雪合戦大会

島根県の雪合戦大会だが、雪がなかったので旭市民体育館で行われた。41チームが参加し、室内ではあったが、熱気溢れる大会が繰り広げられたようである。

男子は広島県のチームが優勝、旭のチームが準優勝したので、旭のチームが島根県代表ということで全国大会へ出場する。女子の旭のチームも準優勝だったが、1位が出雲市のチームだったので、出雲市のチームが島根県代表で全国大会へ行く。そのため女子は全国大会出場権は獲得できなかったが、それぞれ大変地元のチームが頑張っていたということである。

⑬ 1月26日（日）第30回中学校柔道三隅大会（三隅中）

第62回島根県書初め展特別賞表彰式（サンマリン浜田）

歴史文化保存展示施設市民説明会（市役所講堂 他）

第30回中学校柔道三隅大会が行われた。第30回の記念ということで、開会式には名誉会長である久保田市長にも出席いただき、激励をいただいた。この大会は三隅中学校に柔道部が創設されたことを記念して地元の皆さんが始められた大会である。運営等についても地域の柔道連盟の方、地域の方が運営に

参加をされて大会を盛り上げ、この大会を行うことによって最終的にその地域の活性化にも結び付けたいという思いで開催されている大会である。

今回は、男女合わせて 41 チーム、300 人を少し超える選手が出場していた。中国 5 県はもとより、福岡県、大分県、長崎県、それから愛媛県からも来られた。特に愛媛県のチームは愛媛県の選抜チームであった。2 年後に愛媛県でインターハイの柔道の大会が開催されるということで、それに向けて中学生でも強化しているということで、強化のためにこの大会に参加したということであった。

地元の選手も頑張ったが、中々上位に進出することは難しかったようだが、市内の生徒 2 人が 3 位に入った。

それから会場を移して、委員方にも出席いただいたが、第 62 回島根県書初め展特別賞表彰式がサンマリン浜田で行われた。

午後からは歴史文化保存展示施設市民説明会が本庁の 4 階講堂を主会場として行われた。テレビ会議システムで、4 つの支所にも中継をして、4 つの会場に集まられた皆さま方からもご意見を聞くということで行った説明会だったが、冒頭 40 分ほど市長が方針について説明をされた。それを受けて意見交換をさせていただいた。

本庁は 76 人が出席した。金城は 15 人、旭は 21 人、弥栄は 10 人、三隅が 4 人ということで、合計 126 人の市民の方の参加があった。

新聞の記事にも出ていたが、この説明会の中では賛成するといった意見が多くあったが、お金を使うならほかにやることがあるだろうといった、事業の優先順位を問題とする意見もあった。

この 1 か月間の報告は以上である。今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

1 月 13 日の大嶋啓介氏の講演会とあるが、大嶋啓介氏という方はどういう方か。

石本教育長

今は居酒屋チェーン店の社長をしておられる。色々なところへこういった講演活動に出向かれておられ、企業の朝礼等でも色々

とお話をされているが、その朝礼の話で皆がやる気を起す様な話をされるとのことである。

藤本委員
石本教育長

特定のスポーツで活躍された実績があるとかではないか。

それはないと思うが、高校野球にすごく関わっておられて、高校野球の球児に対してメンタルトレーニング的なことをされて、約 20 校近くが甲子園に出ているそうである。石見智翠館高校も実はこの方のメンタルトレーニングを受けており、石見智翠館高校には何回も来ておられる様である。13 日に講演会があったが、14 日は石見智翠館高校で講演をするという話をされていた。

大社高校でも講演会をされたことがあるそうである。今は結構有名な講師となられている。

藤本委員

入場料も 2,000 円でそう安いと思わないのに参加人数が多いので、すごい方かなと思った。

石本教育長

実行委員会の方々の努力もあると思う。

先ほど言いました様に、父親の最大の役割は妻を、奥さんを喜ばせることだということだが、中々難しいなと個人的には思っている。

藤本委員

日本にはことわざがたくさんあり、それが好きである。その中の一つに商売に関わることわざがある。例えば「商いは三惚れ」ということわざがあるが、三惚れの 3 つ目は、旦那が主人公であれば奥さんをより一層好きになりなさいとある。その逆で奥さんが主人公である場合は、旦那さんを好きになりなさい、ということが三惚れの 3 つ目に書いてある。そういう気持ちは大事である。

宇津委員

先ほど実行委員会を立ち上げて努力が実ったという話があったが、1 月 26 日に開かれた三隅柔道にも言えるのではないか。県を越して、県をまたいで選手が集まっている。地道な努力があったのかなと思う。それと、以前韓国からも選手が来た経緯がある。今の状況からして無理なのかなという気がするが、これから先もそういうアプローチをされるのかどうか。

石本教育長

アプローチはこれからもするはずである。島根県の中学校柔道の選抜チームが、毎年韓国の釜山に行って合同練習をしていた。一昨年まで行っていたが、去年は行きたいということで申し入れをしたが、受け入れ態勢が十分に取れないということで、やんわりお断りがあったと聞いている。

実は去年も出場しなかったが、その理由は合宿中に大きなケガがあり、その関係で国外に出ることが難しいという理由であった。

何らかの政治的な背景もないとは言えないと思う。ただ、来年もこちらからも行きたいということはまた声掛けはするし、来てくださいという話もしたいと思っている。

韓国のチームがくるようになったのは何年前からか私もよく分からないが、10年くらい前からか。

小松分室長
石本教育長

そんなに昔からではない。4、5年は来ている。

韓国から来る時は中学生を20人くらい連れてきていた。韓国は、雪は降るが中々積もらないということで、浜田からの帰りに必ず大佐山によって雪合戦をして帰っていた。子どもたちは喜んで来ていた。

各委員

その他はよろしいか。

特になし。

2 議題

(1) 令和2年度教育方針について（資料1）

石本教育長

議題の1点目に令和2年度教育方針についてということだが、事務局から何かあるか。

日ノ原係長
石本教育長

特になし。

事前に委員方には資料を送付させていただいている。まだまだ言葉を整理しなければいけないところが多々あるのではないかという気もするし、中身的にもどうかという部分があるかと思う。委員方からご意見いただきたいと思うので、その都度ご意見等あればお願いしたいと思う。

まず1ページと、それから3ページ5行目までのところ、いわゆるリード文、前段の部分でお気付きの点、修正すべき点があればお願いしたいと思う。

藤本委員

2点ほど。1ページの6行目、「パブリックビューイングの実施」とあるが、これが私は何のことか分からなかった。もう少し表現があれば、その方がいいかなと思う。私だけでなく、市民の方でも分からない方がおられると思う。

もう1点は、2ページ目のところで「渚の交番」とあるが、これは新設されるということになっているが、ここももう少し分かりやすい表現ができればよい。「渚の交番」というものがどういうものか分かる書き方があればよいと思う。

石本教育長

ありがとうございました。

確かに「渚の交番」という言葉は分かりづらいかもしれない。

頭に何かつけるか。

河上部長 「渚の交番」は固有名詞なので、それを表すものをつけるということではどうか。

石本教育長 海のパトロールをする、そういった文言を頭に付けては。

藤本委員 そういう感じがいいと思う。

河上部長 「渚の交番」は固有名詞なので、それが何を表すかということをつける。

藤本委員 それでよいと思う。

石本教育長 そこは説明文を加えるということで、事務局で検討してほしい。それから「パブリックビューイング」だが、確かに難しい方もおられるかもしれないが、かなり市民権を得ているようにも思う。

河上部長 要は皆で一緒にどこかに集まって観戦をするという意味である。球場とかで。

藤本委員 イメージではそう思っているが。

河上部長 一般公開という言い方もありそうではあるが。

藤本委員 それを一般の方が分かるかなと思う。

私が聞いた4人くらいは誰も知らなかった。だから、それが良いとか悪いとかという議論ではなく、要は分かりやすくということが私は言いたい。

宇津委員 コメントを求めるという場合もある。パブリックコメントとか。だから、ある程度知られていると思う。

藤本委員 だが、これをもう少し分かりやすく表現することは、そんなに難しいことではないと思う。

河上部長 「映像を皆で見るパブリックビューイング」にするとか。

石本教育長 少し検討する。

宇津委員 基本的にこれは教育長が市長の方針を受けて、議会で発表されるものになるのか。

石本教育長 そうである。教育の部分だけを私が申し述べる。

宇津委員 全体的に話し言葉になっているのはそういうことか。

石本教育長 そうである。このまま私が読む。

施政方針は市長の思いだが、この教育方針は教育委員会の方針として、代わりに私が読ませていただく。

パブリックビューイングのところは少し工夫したいと思う。

その他お気付きの点はあるか。

1 ページの一番下のところに、「浜田市学校業務改善プラン」に基づき、とあるが、これは今作っており、3月末までに出来上がる

予定である。2年度は今年度出来上がるプランに基づいて、ということになるという意味で書いているので、委員方にはまだこのプランはお示ししたことがない。また、出来次第、3月の定例会でお示ししたいと思っている。

また他にお気付きの点があれば仰っていただきたい。

3ページから5ページは学校教育についてである。このところで何かお気づきの点があればご意見いただきたい。

宇津委員

4ページの6行目、「メディア時間の適正化」、これは従来から言われてきたが、時間だけでいいのか。もっと内容について、例えば情報を正しく理解するとか、理解した内容を適正な行動に移すとかいう部分の、内容に迫っていかなければいけない時代にきているのかなと思う。

また、協議会のところで話が出てくるかと思うが、様々な情報を適正に理解しているのか、理解したものを行動に移しているのか、その辺りも内容的に問われる時代がきているのではないかという気がして、この中に盛り込むかどうかということは別問題として、ただ単に時間の問題ではないという気がしている。

石本教育長

今ご意見のあったとおりでと思う。ここでは家庭学習との絡みで時間のことを言っている。いわゆる「情報モラル」という様な言い方をする場合もあるが、その辺のところ、情報と適正に向き合う、情報によって色々と危険に晒されることもあるので、その辺も含めての記述について、付け加えはできるか。

日ノ原係長

はい。

石本教育長

言われるとおり、確かに時間の問題だけではない。情報の中身やモラルのこと、その辺を付け加える。

金本委員

リテラシーとか。

牛尾室長

言われるとおり、情報活用能力は今後すごく今まで以上に重要視されてくる。この記述で言うと、学力向上対策というかたちで挙げており、浜田で一番大きい課題がメディアに関わる時間と家庭学習の時間、そういうことを挙げています。

情報活用能力が本当にすごく重要なことである。

石本教育長

書きぶりとして、ここは学力向上のことと繋げて書いてあるので、「さらに」とかで2、3行追加したらよい。ここは事務局で検討させていただく。ありがとうございました。

4ページの下のところ、不登校傾向と不登校生徒への対応があるが、山びこ学級で学習の機会を確保するという事は、確かに

あるが、それ以前に学校として児童生徒に対して支援していること、その辺をもう少し書き込みをした方がいいのではないか。学校に行けなくなったら山びこに行って勉強してくださいという様に受け取られてはいけない。保護者を支援するとか、そういうことの前に学校でやっていることを付け加えた方がいいと思う。その辺を検討してほしい。

市原課長

当然家庭訪問等があつてのこの文章だが、言葉足らずかなと思う。確かにこれだけ読むと、見えにくいかもしれない。

石本教育長

当然学校としても何か支援をしていると思う。その辺をもう少し丁寧に記述してほしい。

藤本委員

4ページのところで、私は一つ評価したいと思う。学校支援員のことを明確に書いているところである。「努めます」という表現ではなく、「充実させる」ということで具体的に書いているので、こういう記述はいいと思う。

石本教育長

これは教育委員会の予算を、今回はここに重点的に配分しようという相談をした。今年は最低6人は増やそうということでやったが、結果的にはもう少し増える。単価も変わったりしたので、予算的には2,000万円くらい増えている。6、7人は必ず増えている。このところは評価してほしいところである。

藤本委員

「努力します」とか、「努めます」とかではなく、少し踏み込んだ表現になっている。特に学校訪問をしたときに、色々とそういう話も出ていたので、それを裏付けるものとして良いなと思った。

石本教育長

今ここには書いていないが、そういうことも踏まえた文になっている。各学校の要望に応じて、ある程度均等に配分するというのではなく、やはり学校によっていろいろ課題の多い学校もあるので、そういうところに重点的に増やすという考え方を検討しているところである。

藤本委員

ダブってしまうが、先ほど教育長が山びこ学級について話された。学校の校長先生によれば、学校に行っていない子どもたちのことについては、山びこ学級だけではないということを言われる方もおられる。ということは、それ以外にももちろんあるということは私も聞いているが、そういうことも入れた方がいいということではないか。

石本教育長

そういうことである。

山びこ学級に行くということは、学校にどうしても行けないという子どもが行くわけで、直接教室に入れなくても、何らかの支

花田委員

援をすることによって、学校そのものには行けるといふ子どもも出てくる。段階を踏んで教室に入れる様な取組をもちろんしているので、その辺のところを付け加えたらいいのではないかと思う。

不登校のことだが、山びこ学級には限界がある。山びこ学級に行きたくない子どももいる。本当に今様々な理由なので、彼らの居場所は学校か家かではなく、もっと色々で、うちもすごく人数が増えている。

民間にしても、とにかく居場所を広げるという意味で、ここに来なかったらフォローしませんみたいなことではフォローしきれない。なので、せめて関係機関とか、今藤本委員がおっしゃった様な、何かを含む書き方をしておかないともたないと思う。市としても、それでは子どもを救えない。

石本教育長
花田委員

関係機関との連携とか。

県の教育委員会だけとか、この書きぶりではもう無理だと思う。学校の出席扱いに民間の施設がなるかというところになると思う。

そのあたりのことは、民間が頑張るだけではなく、一緒に情報交換をしながら、子どものことなので、どこが窓口でも良くて、どこがフォローしていくかというのを全体で考えないとやっていけないという実情がある。そこをいつまでも、設定した学級に来ない限りはフォローしないみたいな書き方は突っ込まれると思う。

石本教育長
花田委員
石本教育長

ここだけ見たらその様に受け取れる。

ここだけという書き方を、もうやめた方がいいと思う。

ご意見いただきましたので、そこはもう少し検討して修正したいと思う。

金本委員
石本教育長

学校教育のところ幼稚園の記述がないが、突っ込まれないか。5ページの3行目に接続カリキュラムのことは書いているが、確かに去年の教育方針にはアンケート結果を基にして今後の幼児教育の在り方について検討してまいりますと書いていた。まだその途中であって、同じことを言うのかと言われるかもしれないが、現状がそうなので、書くとしたらその様なことになる。中では間違いなく検討していて、今は子育て支援課が積極的に検討しているので、幼稚園のところ少し書き込みをしなければいけないという認識はあった。幼児教育の在り方を少し書かせていただくことにする。

5 ページの下のところで、特別教室のエアコンについて書いてあるが、ここは議会の中で特別教室のエアコンはぜひ付けなくてはならないとずっと言っておられ、私も答弁の中で、計画を作って順次取組をすと言っているが、この「必要な教室について検討してまいります。」だと、表現が弱い。もう少し踏み込んで言えないかと思う。検討してほしい。

湯浅課長
石本教育長

承知した。

あまりできないことを言っははいけないが、いずれにしてもしなくてははいけないことなので、全く手を付けなくてもいいということではない。どこか順番を決めて取り組んでいかないといけないことである。来年からすぐにできるかという、予算の問題もあり、すぐにはできないかもしれないが、計画だけは作りたい。そういう表現ができないか検討してみしてほしい。

湯浅課長
石本教育長

水銀灯の製造中止は、これは間違いないのか。

そのように聞いている。

スポーツ施設や公共施設、学校施設は変えなくてははいけないことになっている。

宇津委員

LED 化については膨大な費用がかかると思う。国からの支援や補助はあるのか。自前で全部しなくてはならないのか。

石本教育長
村木課長
日ノ原係長

運動施設は来年度予算であったか。

運動施設は起債で補助はない。

学校施設も補助のメニューの中にはあるが、ある一定額以上、1 校ずつでみると 1 校あたりいくら以上というところに達しないので、該当にならない。

石本教育長

学校で水銀灯があるのは体育館しかないか。他のところはないか。

日ノ原係長
村木課長

体育館である。他はないと思う。

スポーツは他に補助を探すとすれば CO2 の関係で、環境省が何かあるかもしれないが、それも全部が全部補助金にはあたらない。CO2、LED 化、そのうえ何か他のものと抱き合わせて CO2 削減の効果を出したものというものは補助金があるということを聞いたことがあるが、LED だけでというものは中々ない。

藤本委員
村木課長
石本教育長
宇津委員

電気料金は半額くらいに下がるのか。

それは間違いなく下がる。

この表記は変更なしでよろしいか。

よい。

石本教育長 続いて社会教育のところに入りたいと思う。6 ページから 8 ページ、2 ページと少しある。そのところでご意見があればお願いしたい。

藤本委員 6 ページの下から 6 行目、「また、家庭教育支援活動では、全ての保護者が安心して～」とあるが、ここの文言を私なりに変えてみた方がいいのではないかと思う。

もう少し譲った様な書き方で、例えば「保護者の皆さんに継続して家庭教育に取り組んでいただけるよう」という様な文言にした方が分かりやすくて柔らかいのかなと思う。

「全ての保護者が安心して」という文言を外して。この辺は人それぞれの思いなので。

宇津委員 この文言でいくとすれば「家庭教育を」ではなく「家庭教育に」ではないか。

藤本委員 文言のことなので、こだわることではないが。

石本教育長 再度検討する。確かにここは言葉を羅列していて分かりにくい文章ではある。

施政方針もそうだが、聞いている市民の方が分かる様な表現をしないといけないと市長が常々言っておられる。教育方針はどちらかというと専門用語や難しい、聞いても分からない言葉が今までも何か所か出てきており、今回も出ているが、市長の施政方針は、誰もが聞いて分かる様な平易な言葉を使われている。その様にしたいが、それをするのは中々難しい。教育で使っている言葉を使う方が楽なので使っているが、市民の方が聞いて分からないといけないので、調整をしなければいけない。

藤本委員 それと、もう 1 点。その続きに、「家庭教育支援チームの組織化に、取り組んでまいります。」という文言があるが、これは今から作るのか。

石本教育長 そうである。家庭教育支援チームは、ずっと作るようにと社会教育委員の会からも提言を受けており、課題としてはあるが、中々できていない。

藤本委員 ここのところで、少し内容を分かりやすく、いきなり支援チームの組織化ではなく、どういった人たちを含めてこういう支援チームを作るのだ、という表現をできないかと思う。

石本教育長 例えば支援チームが何をするのか、どういったことをして支援をするチームなのかということが分かった方がいいかもしれない。

村木課長	はい。
金本委員	ここは一文が長すぎる。
石本教育長	確かに長い。付け加えたりすると長くなるので、2つの文章に分けてみるように。
宇津委員	7ページのスポーツ関係だが、8月に推進委員会の研修大会が開かれ、浜田が中心になってということが説明してあり、「スポーツ・レクリエーション活動を提案し」とあるが、併せてこの研修大会では「スポーツ推進委員の資質の向上」という狙いもあるのではないかと思う。そういうことも少し盛り込んでもらえるといい。
石本教育長	確かにこの研修大会の一番の目的はスポーツ推進委員の資質の向上であり、それが主なのだが、そこが確かに抜けている。 そこを付け加えるように。
村木課長	はい。
石本教育長	これは何人くらい集まるのか。200人くらいか。
村木課長	県下の推進委員の方々が来られるのでそのくらいである。
金本委員	読書活動の普及のところで、最後に「高齢者による読み聞かせ等の読書活動を支援します。」とあるが、確か石見公民館であったか。
村木課長	そうである。
金本委員	あれはもうやっていないのか。
村木課長	今もやっている。
金本委員	社会福祉協議会や福祉施設と連携しとあるが、公民館はどうか。
石本教育長	「公民館、社会福祉協議会や福祉施設と連携し、」とするか。高齢者によるというのは、高齢者が読まれるということか。
村木課長	そうである。
石本教育長	その方々が学校へ出向いて行ったり、いろんな場所でということか。
村木課長	そうである。例えば図書館だとか学校だとか、いわゆる子どもを対象としたところでデビューする、そういうきっかけづくりをする。
石本教育長	石見公民館の活動でなかったか。
村木課長	そうである。
石本教育長	県議が視察に来られた。
村木課長	島根県も、この前は愛媛県からも視察に来られた。

石本教育長	それではここの修正をお願いします。
村木課長	承知した。
石本教育長	7ページが一番下のところに、図書館システムの更新について書いてあるが、利用者の利便性向上を図るため」にシステム更新をするが、そのシステムを更新する中身、概要的なものが「座席予約の円滑化など」とあるが、これが中心なのか。違う様な気がする。
村木課長	座席予約は特定の空間のことになる。
石本教育長	その予約システムを変えることも確かに図書館システムの更新の中には入ってくるだろうが、これ以外に何か一番中心となる様な更新の目的なり、方針があると思うので、少し確認してほしい。
村木課長	承知した。
石本教育長	8ページのところで、芸術文化の振興。それから9ページの文化財の調査及び保存であるが、ご意見等あればお願いしたい。
藤本委員	2点ほど。1点目は9ページの真ん中あたり、「歴史文化保存展示施設の整備に～」とあり、ここをずっと読み進めると、ふるさと郷育は当然だが、「市民や観光客の交流」という表現が入ってくる。これはあった方がいいか。
石本教育長	今、市民説明会等でも色々この辺りのことは話をしており、施設を造る目的は3つあり、歴史・文化の保存、継承が1つ、それからふるさと郷育、3つ目に市民や観光客との交流というのを大きな1つの目的としているので外せない。
藤本委員	具体的に何をするのかと聞いていた。目的に入っているのでは外せない。
石本教育長	社会教育のふるさと郷育に関わることで、市民が当然来られることもあるし、歴史を勉強している団体とかサークル等が、この施設に来られて勉強するといったことも考えられる。 観光客というのは、他所に行ったときにそこのことを知ろうと思ったら、まず歴史郷土資料館の様などころに行って、その街の歴史を紐解いてみるという観光客も多いらしい。交流人口を増やすという目的も入っている。
藤本委員	2点目に9ページの最後から2行目の「令和2年度にすべての支所等で展示」とあるが、これは具体的にはどういうことをするという事は決まっているのか。尋ねられた時に、まだ決まってないということでは寂しい気がする。
石本教育長	十分ではないが、すでに弥栄と三隅は展示をしている。まだ直

さなくてはいけないところもあり、今のままでは寂しいが行っている。令和 2 年度中に金城と旭に展示をする。アウトラインはできているが、具体的にどういう展示をするといった細かいところは今から秋までに整備をするので、今から詰めていくことになる。

今ある民俗資料館にそれぞれ色々なものを持っておられるが、その中からピックアップして、旭なら旭の歴史が分かるような展示をする。

藤本委員
石本教育長

承知した。

5 行くらい使って石本正先生の生誕 100 年の記念事業について書いているが、これは結構大きな事業になっている。島根県立美術館をスタートとし、全国の美術館を 3 館くらい回り、最終的に令和 3 年度に入ったら、今度は大手の百貨店が主催になってまた全国を回るということで、2 年がかりで展覧会が全国を回る。石本先生の展覧会として今までにない一番大きな規模になるという気がしている。中々何回もできることではないので、これくらいの規模はもしかしたら最後になる可能性もあると思う。それくらい石正美術館も力を入れて取組をしたいと思っている事業である。

3 年くらい前から娘さんとずっと細かい詰めをされており、良い展覧会になるのではないかと思います。

経費的にはそれぞれの美術館が出されるので、石正美術館に教育委員会から出す補助金は 200 万円です。大手百貨店は新聞社、朝日新聞が協賛をするので、そちらからのお金も入るので、地元の石正美術館がお金を一切負担することはない。

田舎では無理だが、都会では入館料等だけでペイできる。

最後に 10 ページのところもあるが、よろしいか。

各委員
石本教育長

特になし。

最後の「市長との連携を密にして」というところの文章で思い出したが、総合教育会議の 2 回目を 2 月、3 月でやらなければいけないのではないかと。今年度は 2 回か 3 回やろうという話をしていた。また計画してみてほしい。

3 月終わり頃でもいい。一連の行事が終わった後でも。

日ノ原係長
石本教育長

承知した。

それでは、ざっと今委員方からご意見をいただいた。ご指摘のあった点については修正させていただく。細かい文言等の訂正については、私が読みやすい様に多少直させていただくかもしれないが、その辺のところはご了解いただければと思う。

日ノ原係長
石本教育長

この直しはいつまでにするか。

2月3日（月）の庁議に出す予定にしている。

それまでに修正しないといけない。直したものを委員方にまた送付して、気付かれた点を返してもらおう。

日ノ原係長

庁議は庁議で一旦委員方に送らせていただいたもので出させていただく。庁議でまた若干変わると思う。

藤本委員

庁議に出して、また何かあったらそこを直すと思うので、それを送っていただいてもいい。

石本教育長

最終でもいいか。

藤本委員

今思いは話したので。

石本教育長

ただ、委員方の思いのとおり直っているかどうか心配で、そのところも確認していただければと思った。

よろしいということであれば、教育委員会で直して、3日に庁議にかけて、そこで最終的にまた修正があったものを送らせていただく。そこで委員方からまたご意見があった時には修正が可能か。いつが最終か。

日ノ原係長

提出としては2月4日に市長公室、2月5日に議会事務局というかたちになっている。議会事務局の提出締切が5日なので、個人的には一回庁議に出すものを同時並行で今週送付させていただき、月曜日までに委員方からもご意見をいただく様なかたちは難しいか。

石本教育長

そうしないと5日の議会事務局の提出が間に合わない。

日ノ原係長

そのため今週直しをさせていただき、今週中には委員方に送付させていただき、3日（月）までのところで変更等ご連絡いただくということで、庁議と並行するかたちでさせていただければと思う。

石本教育長

金曜日に送付したら土曜日に届かない場合もあるので、必ず木曜日に発送して、土曜日までには委員方の手元に届く様に。そして、月曜日の夕方までに修正のご意見があればいただくことにする。庁議での変更点と委員方からの変更点、それを含めたものでさらに修正させていただく。

ということで、2月1日（土）までにはお手元に届く様にさせていただく。それをまた見ていただき、何かあれば2月3日（月）の夕方までに、事務局の日ノ原係長までご指摘をいただければ、そのところで、修正を検討して最終的に決定したものを作りたいと思う。

先ほど言いました様に、多少の文言等の修正については事務局並びに私にご一任いただければと思うのでよろしく願いしたい。ご意見ありがとうございました。

(2) 教育委員会委員と社会教育委員の意見交換について (資料 2)

村木課長

毎年この時期に委員方にお世話になり、生涯学習課の社会教育委員との意見交換会を行っている。例年 2 月、または 3 月に行っている。今年度においては、これまでの取組や、今後の社会教育の推進等の意見交換を目的とするもので、実施日は 2 月 5 日 (水) 10 時から 11 時 45 分に申し訳ないが設定させていただいた。

内容としては後ほどの会議で少し説明させていただく社会教育推進計画や公民館のコミュニティセンター化、今後の社会教育等について意見交換できればと思っている。

今の社会教育委員の方々はこの 3 月で任期が切れることから、今回は 2 月ということで提案させていただいたところである。

よろしく願います。

石本教育長

例年やっている社会教育委員との意見交換が 2 月 5 日 (水) 10 時から 11 時 45 分ということで事務局から提案があったが、1 週間くらいしかないので、来年からはもう少し早めに周知をお願いしたいと思う。2 月 5 日は委員方のご都合はいかがか。

各委員

よい。

石本教育長

それでは 2 月 5 日 (水) 10 時から 11 時 45 分という日程で、意見交換を行いたいと思う。内容については資料の 3 番にあるとおりだが、事前に資料は委員方に送るようお願いする。目を通しておいてもらって、会議に臨んでいただきたいと思う。

村木課長

承知した。

石本教育長

それでは資料を事前送付させていただく。

(3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について (資料 3)

石本教育長

毎年この時期にお願いをしているが、直前で申し訳ないが、今週の木曜日に人間ドックに行く予定となっており、職務専念の義務を免除していただければと思うがよろしいか。

各委員

全会一致で承認

石本教育長

ありがとうございます。

3 部長・課長等報告事項

令和2年3月浜田市議会定例会議日程（案）（資料4）

令和2年3月浜田市議会定例会議の日程である。定例会議については2月25日（火）に開会し、3月18日（水）に表決という流れになっている。

途中の状況になるが、2月26日には会派代表質問、27日から3月3日までの間について個人一般質問が予定されている。

その他の予定についてはご一読いただきたいと思う。

行事等予定表（資料5）

本日以降からの来月末までの行事予定を記載している。委員方の出席については○が書いていないが、2月5日に第47回浜田市創作ダンス発表会、それから先ほど資料2で説明した教育委員会委員と社会教育委員の意見交換会が記載されていませんが、追記をさせていただきたいと思う。

それから2月11日、協働のまちづくりフォーラムということで、委員方にご案内があるのではないかと思います。

2月21日には第177回教育委員会定例会を予定しているので、よろしくお願ひしたい。

その他についてはそれぞれ備考に資料番号等の記載をしているので、ご一読いただきたい。

学校給食費の改定にかかる浜田市学校給食審議会の答申について（資料6）

冒頭教育長のあいさつでもあったが、学校給食費の改定にかかる浜田市学校給食審議会の答申についてということで、説明させていただく。

平成26年4月に学校給食費の引上げ改定を行って以降、6年間据え置いている中で食材料費の値上げもあり、学校給食の提供について大変厳しい状況であることから、適正な学校給食費についてご審議いただくため、令和元年9月30日に諮問を行った。それを受けて、令和元年12月23日に浜田市学校給食審議会から答申を受けたので、答申の内容について報告させていただく。

答申日は令和元年12月23日である。改定については、「学校給食摂取基準に基づいた給食を維持・継続することの必要性や食材料費の価格高騰を踏まえ、引上改定を行うことが適当で

ある。」との答申である。

改定額については、総務省統計局が公表している松江市の消費者物価指数を参考とし、「前回給食費の改定を行った平成 26 年時点の消費者物価指数と比較して、平成 30 年の消費者物価指数上昇分 6.9%の範囲内で改定することが適当と考える。」とのことである。現行の給食費に対して消費者物価指数 6.9%に相当する額は、小学校 18～19 円、中学校 20～21 円となる。

続いて改定時期については、令和 2 年 4 月 1 日が適当であるとの答申であった。

参考ではあるが、仮に 1 人当たり、年間 201 食を提供した場合、11 か月平均での徴収であるが、月額での影響額を試算している。浜田の例であるが、小学校では月額で児童 1 人当たり 330 円、中学校で生徒 1 人当たり 390 円となっている。

なお、この額は年間の最大提供可能食数で算出しているので、提供する食数が減ればその分少なくなるという様にご理解いただきたい。

続いて審議会の開催状況である。1 回目の令和元年 9 月 30 日に諮問し、以後 3 回の検討を行っていただいている。

今後の予定だが、答申の内容を浜田市学校給食会や各自治区の学校給食センター運営委員会、三隅自治区については自校方式であるので、小中学校へお知らせをし、協議をいただき今年度中には決定をいただくことと考えている。

裏面に参考として 1 食当たりの学校給食費の状況を載せている。これについてはご一読いただけたらと思う。

行事予定表のところで、協働のまちづくりフォーラムは委員方に案内したか。

協働のまちづくりフォーラム自体の通知はまだである。

これはまちづくり推進課が作るのか。

そうである。地域政策部が主体であり、起案が回っていた。

委員方には案内をする予定か。

案内をする。

大体いつも来ていただいているのか。

そうである。

創作ダンスも毎年委員方に案内が行っているか。案内はないが来ていただいているのか。

案内は来ていない。

石本教育長

村木課長

石本教育長

村木課長

石本教育長

村木課長

石本教育長

村木課長

石本教育長

各委員

石本教育長

委員方に顔を出していただいているので、案内が行っているのかと思っていた。インフルエンザの関係で開催されるかどうか定かではないが、5日に予定されているので、ありましたらよろしくお願ひしたいと思う。

市原課長

「第23回 図書館を使った調べる学習コンクール」全国審査結果について（資料7）

「第23回 図書館を使った調べる学習コンクール」全国審査結果についてである。資料にある様に、低・中・高学年、中学校の部で各4点ずつ、16点を全国に送った。審査結果について、原井小3年の永野さんが奨励賞、原井小4年の横山さんが奨励賞、三階小5年の堂原さんが優良賞、雲城小6年の星野さんが奨励賞ということで、この度は全国で4件が賞をいただいた。昨年がこれが1件ずつだった。コンクールの概要については下に記載しているが、優秀賞はなかったが、優良賞160点のうちの1点、奨励賞299点のうちの3点ということで、今年が第6回になるが、浜田市でのこの取組が根付いてきて、全国でもこの取組について大変評価されているということをお坂指導主事から聞いている。詳しくはまたご覧いただきたい。

令和元年度卒業（園）式及び令和2年度入学（園）式日程（資料8）

卒業式、入学式の日程を載せている。今から出席については教育総務課で調整すると思うので、また日程等の確認をお願いしたい。

3月18日が議会の表決の日となっているが、議会は午後からに調整いただいております、18日にある学校は午前中のところで予定されている。

牛尾室長

第9回（1月）市校長会資料レジュメ（資料9）

1月の校長会、教頭会で情報提供したものである。

まず1番、プログラミング教育についてである。来年度から小学校でプログラミング教育が導入される。先日新聞にプログラミング教育黄信号という様な記事が出ていた。市町によっては取組がなされていないということが出ていた。

浜田市では現場の先生方の代表でプロジェクトチームを作

った。そして浜田市統一し最低限実施していく内容を検討してきた。配布資料①②③とあるが、そういう資料を作り、各小学校へ配布して校内研修ができるようにし、3 学期中に共通理解していただく様にしている。

ただ、管理職も教職員も受けたことがない教育なので、中々文章だけ読んでもイメージが湧かない。先週終わったが、1 月 24 日（金）に各小学校から 1 名以上担当者に集ってもらい、体験的な研修をした。その体験的な研修をしたことを各学校に持ち帰り、報告していただくというかたちで実施している。

先ほど情報活用能力が大変重要になってくると話したが、このプログラミング教育、これだけを特別に実施するというわけではなく、情報活用能力の一部である。まず令和 2 年度は、統一して最低限やっていこうと確認したところである。

それから 2 番目、新指導要録について。小学校が完全実施となるので、小学校児童指導要録の新しい手引きを電子処理できる様に電子データ等を提供している。

3 番、教育ジャーナルの中に「授業研究の在り方の改善」が大変重要であるといった情報があったので、これを提供した。要するに、校内研究・授業をどこもやっているが、授業ももちろんだがその後の話し合いがとても大切になるということである。子どもたちの表情とか発言の変化を敏感に読み取り、そこで教師のどんな働きかけがあったのかに重ね合わせ、子どもたちの固有名詞で、「この子はここが変わったよね」「あの子はこう発言したよね」と、具体的な事実で語る、そういうことが大事だということであった。

すでにこういうことをやっている学校はあるが、これを意識してやっていこうと。授業研究の在り方が次の授業改善に生きるかどうかを大きく影響するということを提供したところである。

2 ページをご覧いただきたい。4 番、今週の 29 日（水）に浜田東中学校で協調学習研修会をする。東大から齊藤萌木先生に来ていただき、校内研修で協調学習を取り入れていく。

その次の日には、金城中、三隅中で授業をやってみたいという先生と一緒に見ていただき、研修をする。中学校の学力向上、授業改革の一つの大きな柱として協調学習を広めていきたいと思う。

村木課長

5 番はキャリア・パスポート活用の研究発表会を浜田市が今年度県の委託事業を受けており、原井小学校、第一中学校、県立であるが浜田高校、浜田市教委が発表会を行う。2月14日(金)に浜田教育センターで行うが、取組の成果を衛星回線を通じて隠岐や松江、東部にも配信する。来年度浜田市は足並みを揃えて取り組んでいく。

令和元年度優良少年団体表彰について (資料 10)

令和元年度優良少年団体表彰で岡見てんつくてんが表彰された。これは子ども神楽の団体であり、平成元年度にできたものが平成10年に一旦休止していたが、平成19年に改めて岡見公民館の協力により再開し、10年経ったところである。平成元年度に習った子どもが大人になって、今の子どもたちに教えるということで、小学生・中学生の団体の表彰であった。

今は10人の子どもがここに通っている。

第72回優良公民館文部科学大臣表彰について (資料 11)

優良公民館文部科学大臣表彰である。今回雲城公民館を推薦し、決定となった。

2月14日に東京での表彰が予定されている。活動としては、先日の新聞でもあったが、ハッチョウトンボをテーマとした学習テーマや保育園から小中高校、大学など幅広く地域とのコミュニケーションを取った活動が評価された。

続いて裏面の公民館研究集会についてである。2月22日にサン・レイクで開催される。浜田市としては長浜公民館、三隅公民館、そして今市、木田、和田の3館連携の発表をする予定である。

当日県内の公民館、コミュニティセンターの発表があり、浜田からは60人弱の公民館やまちづくり関係者が出席し、他館や自分のところの公民館やまちづくりセンターの活動を見聞きし、学ぶといったところである。

令和2年 浜田市成人式について (資料 12)

1月3日に行われ、対象者の約8割の出席があった。大体今までが7割ちょっとだったが、次の日が休みだということもあったのかなと思っている。

救急車を呼ぶという事案もあったが、その他大きなトラブルもなく、サプライズの佐々岡監督のメッセージや浜田市出身の歌手のサプライズコンサート、夢追人のコンサートもあり、盛大に祝ったところである。

併せて委員方にもご出席いただきありがとうございました。

協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会及び公民館のコミュニティセンター化部会の開催状況について（資料 13）

委員方から協働のまちづくり及びコミュニティセンター化の進捗状況の報告ということで、この度から随時報告をさせていただこうと思っている。

それぞれ協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会の開催状況や公民館のコミュニティセンター化の開催状況を載せているが、まだ決定した事項はない。決定した事項が出ると、逐次当教育委員会に諮らせていただき、教育委員会としての見解や考え等々もお聞きしたいと考えている。

また 3 番にある合同の先進地視察ということで、当教育委員会が視察した周南市に 12 月 19 日に協働まちづくり委員や公民館のコミュニティセンター化部会の方々も、まちづくりという視点で視察に行ったのでご報告をさせていただく。

先ほどあった 2 月 11 日のフォーラムであるが、詳細は未定ということで、決まっているのは日にちと時間といわみ〜で行われるといったところである。

次の資料 1、2 でそれぞれのメンバーを載せている。結果としてそれぞれの会長や部会長は長畑先生が就かれている。また、副会長、副部長というかたちで社会教育委員の会の会長である冨金原会長が選任されて議事進行を務めている。

年末年始のサン・ビレッジ浜田アイススケート場利用者数について（資料 14）

年末年始のサン・ビレッジ浜田アイススケート場利用者数である。12 月 28 日から 1 月 5 日までの利用状況を 1 年前と比べたものである。今回色々と、開始日等々の協議もあり、特に PR をということもあり、3 番のアクアス特典利用者数を再掲している。1 年前の西川議員のご提案を直近になって進めたということで、アクアスの特典とは、アクアスの入場券を持ってい

る、または年間パスポートを持っている方は靴代の 410 円を無料にするという様な利用促進を目指した特典である。結果として前年より多くの利用者があった。

第 57 回 浜田市駅伝競走大会及び第 1 回浜田ちびっこ駅伝競走大会の結果について（資料 15）

駅伝の結果である。また、第 1 回はまだちびっこ駅伝競走大会ということで 1km4 区間、計 4km、14 チームの参加があったところである。

第 23 回島根県立石見武道館少年柔道大会の結果について（資料 16）

県立石見武道館の柔道大会についてである。隠岐の島から、松江・出雲、それぞれから参加があり、25 団体、245 名の柔道大会が石見武道館で開催された。その結果の報告である。

裏面は三隅柔道大会の結果報告である。島根県他、鳥取、広島、大分、長崎、愛媛といったところで 41 チームの選手が参加をした大きな大会が三隅で開催された。

外浦課長

石本正作品選 4・石本正 心の眼 3

第 23 回浜田こどもアンデパンダン展

浜田開府 400 年記念事業 浜田真理子コンサート（資料 17）

美術館での展覧会や催し物のご案内をさせていただきます。

まず、石正美術館である。石本正先生の作品、年 4 回色々な作品について展示しているが、今回は 4 回目ということで、正月明けて 1 月 2 日から 3 月 15 日まで展示している。

同時に、企画展示室では他の作家の作品も展示をしている。

続いてこども美術館での展覧会である。第 23 回浜田こどもアンデパンダン展が 1 月 18 日から 3 月 8 日まで開催される。

作品に賞を設けないこども美術館ならではの展覧会である。ぜひご覧いただきたいと思う。

3 つ目に石央文化ホールで 2 月 2 日（日）に浜田開府 400 年記念事業として浜田真理子コンサートを予定している。1 部ではソロコンサート、2 部では昭和歌謡カバーコンサートということで、懐かしい曲を歌われる予定である。

佐々尾分室長
(代理：稲田係長)

第 22 回島根県雪合戦大会 大会結果報告 (資料 18)

冒頭教育長からもあったが、1月25日、26日の2日間において第22回島根県雪合戦大会が開催された。昨年に続き雪が確保できなかったため、市民体育館を会場として行った。参加チーム数は昨年第21回と同様に41チームの参加があった。チームの内訳としては浜田市内が24チーム、県内が11チーム、県外が6チームということになっている。

結果については中段以降のところに記載をしている。浜田市内からの参加チームについてはどの部門においても決勝戦に進出するというところで大健闘を収めた。

チャンピオンズリーグでの優勝は広島県のチームだったが、準優勝の浜田市旭町の壺(ワン)というチームとレディースリーグの優勝、NoNameという出雲市のチームについては3月7日、8日に行われる第7回日本雪合戦選手権大会に、今年は群馬県の利根郡みなかみ町で行われるが、こちらに出場される。

また、フレンドリーリーグ、ジュニアリーグ、それぞれ浜田市旭町のチームが優勝している。

勤続ということで、5年連続出場表彰を3チームのところに表彰させていただいた。また、特別賞ということでフラッグ賞、コスチューム賞、それぞれの部門で表彰させていただいた。

三浦分室長

(仮称) 杵束コミュニティ施設の整備状況について (資料 19)

昨年もこの時期に報告させていただいている。仮称であるが杵束コミュニティ施設ということで、本年度から3か年の計画で整備を予定しているということを昨年報告させていただいている。

今年度は状況報告ということである。今年度は実施設計に取り掛かっており、まだ最終のところはできていないが、ほぼ最終段階にきているので、合わせてご報告したいと思っている。

施設の概要としては1番にあるが、建物の完成は来年度になるが、令和3年1月末までのところで予定している。構造については当初は鉄筋の平屋建てを考えていたが、最終的に構造的に木造でもいけるということになったので、木造平屋建てでということにしている。延床面積は612㎡ことで、主な用途は記載のとおりである。

予定地としては、写真が見にくくなっているが、弥栄の杵束

地区、杵束公民館があるが、公民館が入っている老人憩いの家、それとその隣の老人福祉センター、これを建替え、予定地というかたちで敷地内にゲートボールがあるが、こちらへ建てる予定としている。

今後の予定については、来年度のところで今年的设计を受けて本体工事、それから備品購入等を行いたいと思っている。年度が変わって令和3年度には新しい建物の供用開始、それから既存の施設の解体をし、その後外構工事をする予定としている。

裏面をご覧いただきたい。設計図を載せている。ほぼ図案が出来上がりつつあるので、最終案ということで参考までに載せている。

図の下側に事務室(1)とあるが、こちらに杵束公民館が入る予定である。それから右側玄関挟んで事務室(2)とあるが、現在も入っておられる社会福祉協議会が入る予定としている。

その他事務室(1)の左隣に図書室、ここは既存の図書室とほぼおなじくらいのスペースで整備している。その左隣が集会室ということで約200人規模の公民館祭りや大きな規模のイベントができるスペースということで考えている。あとは会議室等備えている。既存の施設の7割以下であるが、その範囲内で今回は整備を行うということで計画をしている。

石本教育長

以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

それでは、今までの報告事項の中で委員方から質問等があればお願いします。

質疑応答

石本教育長

私から一つ。資料6で給食実施日数が201日という報告があったが、従来ずっと200日以下ということでやっていたと思うが、いつから1日増えたのか。

湯浅課長

基本的に200日以下だが、給食センターの最大稼働日数が可能というところで一応201日で試算させていただいた。

石本教育長

職員の勤務状況とか色々勘案した時に201日までは可能ということか。

湯浅課長	そうである。
石本教育長	予算上は200日か。201日にしているか。たぶん1日違えば何百万円も違う。
湯浅課長	201日にしている。この額がそのまま引き上げ改定されるとなると、年間で約1,400万円引き上げとなる。
石本教育長	委員方からはよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	それでは報告事項については以上とさせていただきます。

4 その他

(1) その他

石本教育長	事務局からその他何かあるか。
日ノ原係長	特になし。
石本教育長	委員方からご報告やご質問があればお願いします。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 2月21日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 3月19日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:43 終了